

成果の説明書

(氏名) 安田 慎	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
研究・書籍	
(1) 安田慎. 2021. 「ソーシャルメディアのなかの東京ジャーミイ」松井広志・岡本健編『ソーシャルメディア・スタディーズ』北樹出版、pp. 127-133.	
(2) 安田慎. 2021. 「宗教がツーリズムと出会うとき：観光資源化する宗教遺産」西尾哲夫・東長靖編『中東・イスラーム世界への30の扉』ミネルヴァ書房。	
(3) 安田慎. 2021. 「COVID-19下の宗教観光を考える：宗教的非日常が構築する日常的感觉」遠藤英樹編『アフターコロナの観光学：COVID-19以後の「新しい観光様式」』新曜社、pp. 209-221.	
(4) 安田慎. 2022. 「聖者に仮託する人生：シリアにおけるサイダ・ザイナブ廟とカルバラの人びと」赤堀雅幸編『イスラームおよびキリスト教における崇敬の人類学：一神教の聖者たち、聖人たち』上智大学イスラーム研究センター。	
研究・学術論文	
(5) Yasuda, S. 2021. Islamic Tourism: Development of Islamic Finance as a Market Philosophy. <i>Journal of Islamic Tourism</i> , 1: 64-78.	
(6) Yasuda, S. 2022. Rethinking Islamic Leisure from Market Islam/L'Islam de Marché: Development of Moral Communication in the Neoliberal Piety. <i>Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies</i> , 15: 18-32.	
研究・学会／研究会発表	
(7) 安田慎. 2021. 「マーケット・イスラーム論から見るイスラミック・ツーリズム」イスラミック・ツーリズム研究会（科研・基盤研究B「イスラミック・ツーリズムにおける観光経験の宗教資源フローをめぐる実証研究」研究会）2021年6月8日、オンライン。	
(8) Yasuda, S. 2021. Rethinking Islamic Tourism from Market Islam / L'Islam de Marché. FFJ-CNRS webinar series: Understanding Religious Dynamics in Economy: a French-Japanese perspective on Islamic Economy. 10 th June 2021, Online.	
(9) 安田慎. 2021. 「脱領域化／再領域化する中東・イスラーム都市：湾岸諸国における旧市街の観光開発を事例に」国立民族学博物館 共同研究「グローバル化時代における『観光化／脱-観光化』のダイナミズムに関する研究：観光を再考する、観光の人類学を再構想する」研究会、2021年7月24日、オンライン。	
(10) Yasuda, S. 2021. Rethinking Leisure in Muslim Societies: Forming a New Islamic Moral Sphere in the Post-Capitalist Era. Joint International Islamic Economic Symposium: New Frontiers of Social Welfare and Market Systems in the Post-Capitalist Era: Islamic Economic Perspective, 13 th November 2021, Online. (基調講演、招聘あり)	
(11) Yasuda, S. 2021. Mapping Pilgrimage in the Marketplace: Social Contexts of <i>Ustaz</i> in Indonesian <i>Bisnis Hajj dan Umroh</i> . 12th International Religious Tourism and Pilgrimage Conference, 3 rd December 2021, Online.	
(12) 安田慎. 2022. 「イスラミック・ツーリズムからイスラーム経済・宗教市場を眺める」イスラーム経済のモビリティと普遍性 研究会、2022年1月20日、オンライン	
(13) 安田慎. 2022. 『アフターコロナの観光学』以後のマッカ巡礼：COVID-19は宗	

教観光を変容させたのか？」『アフターコロナの観光学』とその後、立命館大学人文科学研究所、2022年3月25日（オンライン）

事典項目・エッセイ

- (14) 安田慎. 2022. 「COVID-19 以後の観光政策－レジリエンスとサステナビリティの視点から」『日本地域政策学会』28、pp. 122-127。
- (15) 安田慎. 2022. 「宗教観光」須藤廣・遠藤英樹・高岡文章・松本健太郎編『よくわかる 観光コミュニケーション論』ミネルヴァ書房。
- (16) 安田慎. 2022. 「ティム・エデンサー」須藤廣・遠藤英樹・高岡文章・松本健太郎編『よくわかる 観光コミュニケーション論』ミネルヴァ書房。

その他

- ・イスラミック・ツーリズム研究会（日本学術振興会・基盤研究（B）「イスラミック・ツーリズムにおける観光経験の宗教資源フローをめぐる実証研究」）で、計4回の研究会を組織した。
- ・観光学術学会、日本観光研究学会の年次大会でそれぞれ座長を務めた。
- ・査読論文（国内誌3本、国際誌3本）を担当した。

教育：担当科目（学部：基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、卒業論文、大学院：観光政策特論）を担当した。卒業論文では、2期生13名の卒業論文集を発行した。

- ・ゼミ生2名が、7月に観光学術学会において学生ポスター発表を行った。
- ・ゼミ活動の一環として、伊香保温泉（9月）・沼田（11月）におけるフィールドワークを実施した。また、対面・オンラインで随時ゼミ・イベントを開催してきた。
- ・横浜市立大学の有馬貴之ゼミと、合同ゼミをオンライン上で実施した（9月、1月）。

社会貢献：公立小松大学主催の「北陸で学ぶ中東・イスラーム研究」のスピーカーとして講演した（2022年1月21日）。

2 その他の事項

共同研究等：①科研費 基盤研究（A）「イスラームおよびキリスト教の聖者・聖遺物崇敬の人類学的研究」研究分担者、②科研費 学術変革領域研究（A）「イスラーム経済のモビリティと普遍性」研究分担者、③科研費 基盤研究（B）「観光学3.0へ向けたツーリズム・モビリティの再考」研究分担者、④科研費 基盤研究（A）「イスラーム神秘主義の構造的な理解：スーフイズム・タリカ・聖者信仰複合現象の解明」研究協力者、⑤科研費 基盤研究（A）「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」研究協力者、⑥日本観光研究学会分科会「観光政策に対する学術的視座の検討分科会」メンバー、⑦高崎経済大学地域科学研究所研究プロジェクト「現代の地域におけるリーダーシップのあり方の研究」プロジェクト・メンバー

委員等：①観光学術学会 評議員、将来構想具体化委員会、『観光学評論』編集委員、②Journal of Islamic Tourism Associate Editor、③International Journal of Religious Tourism and Pilgrimage Editorial Board、④ぐんまダイバーシティネットワーク機関代表者、⑤高崎経済大学 地域政策学会 理事

3 次年度以降の計画・抱負

- ・引き続き関連する研究・教育・社会貢献課題について進めていく。
- ・研究では、既に投稿・校正を行っている論文・書籍の発行を目指す。
- ・教育では、学会・他大学との連携を図りながら、ゼミ活動の充実を図っていく。
- ・社会貢献活動では、オンラインを用いた社会貢献活動を充実させていく。